

情報技術基礎

教科	工業	単位数	2	学科・学年	電子機械科 1 年生
使用教科書	「情報技術基礎 新訂版」(実教出版)			副教材等	情報技術検定試験 標準問題集

◇ 学習の到達目標 ◇

情報に関する基礎的・基本的な内容を身に付けます。たとえば、簡単なプログラミング技術や産業界で利用されている機械がコンピュータでどのように制御されているかなどを学習するとともに情報モラルとは何かを学びます。

◇ 科目の特色 ◇

コンピュータ等を活用し基礎的・基本的な知識を習得し、活用する能力などを身に付ける科目です。また、どのように情報を発信するべきかといった基礎的な内容を学習します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	第 1 章 産業社会と情報技術 第 2 章 コンピュータの基本操作とソフトウェア	・身近な活用例を取り上げ、コンピュータの利用について習する。 【前期中間考査】
7 9	第 3 章 プログラミングの基礎 第 5 章 C 言語によるプログラミング	・プログラムの考え方を、具体的な問題を通して解決する力を向上させ、プログラムを学習する。 【前期期末考査】
10 12	第 6 章 ハードウェア 第 7 章 コンピュータネットワーク 第 8 章 コンピュータ制御	・コンピュータ内部の基本回路について学習する。 ・コンピュータの処理装置や周辺装置等の取り扱いについて学習する。 【後期中間考査】
1 3	第 9 章 情報技術の活用	・コンピュータの活用について学習する。 ・情報のセキュリティについて学習する。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	情報の学習を通して、情報の考え方に関心を持つとともに、情報に関する正しい知識や考え方を認識し、それらを事象の考察に活用しようとするか。
思考・判断・表現	情報の学習を通して、情報の正しい見方や考え方を身に付け、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることができるか。
技能	情報に関するモラルや約束事に従って情報を表現し、処理することができ、自分自身の考え方を適切に表現・処理できるか。
知識・理解	情報に関する基本的事項や情報処理機器を的確に使用する事柄について理解できるか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- ①定期考査 ②学習に対する取り組み ③提出物(授業ノート、課題、宿題)の期限
④提出物(授業ノート、課題、宿題)の内容 ⑤自己評価、授業評価のさいに記入したプリント
また 1 年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

この科目は、コンピュータおよびネットワークにかかわる知識と技術を身につけるだけでなく、情報に対するセキュリティや情報モラルについても学びます。